

教科

学年

学期

家庭科 1学年

1学期

102 世田谷区立太子堂中学校

月	単元	学 習 内 容	時数	観 点 ご と の 評 価 規 準 (達成してほしい姿)				
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4 5 6 7	B 食生活	・家庭科のガイダンス	1	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。		・家庭科分野に対して関心を持って授業に取り組もうとしている。		
		1. 人間にとっての食事	2	健康によい食習慣について理解している。	自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。		
		2. 食品と栄養素	3	中学生の1日に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。	中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。	中学生に必要な栄養素を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。		
		3. 中学生に必要な食事	7				中学生の1日分の献立について、課題の解決に主多雨的に取り組もうとしている。	
		4. 献立作り						
おもな評価材料	・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・授業観察					
9 10 11 12	B 食生活	4. 日常食の調理と地域の食文化	4	食品の安全と衛生に留意した管理について理解している。 食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切に調理ができる。 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに基礎的な日常食の調理が適切にできる。	日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 食品の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切な判断ができる。	1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 自分や家族の食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。		
①食品と調理								
②生鮮食品の選択と保存								
③肉の特徴								
④魚の特徴								
⑤野菜の特徴								
⑥加工食品の選択と保存								
おもな評価材料	・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・授業観察					
1 2 3	B 食生活	4. 日常食の調理と地域の食文化	3	食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切に調理ができる。 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに基礎的な日常食の調理が適切にできる。	食品の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切な判断ができる。	自分や家族の食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。		
⑦受け継がれてきた食文化								
6. 持続可能な食生活		4					食生活に関わる問題と課題を理解し考察することができる。	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
おもな評価材料		・プリント ・テスト ・作品					・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・授業観察

月	単元	学 習 内 容	時数	観 点 ご と の 評 価 規 準 (達成してほしい姿)				
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	B 衣生活	1. 目的に応じた衣服の選択	3	目的に応じた用具の使い方を実践できる。	T.P.0に応じた衣服の選び方を理解し、社会的慣習に合わせた服装を判断することができる。	T.P.0に応じた衣服の選び方に関心を持って学習し、社会的慣習を理解しようとしている。		
5			繊維の種類と特徴を踏まえた扱い方を理解している。					
6		2. 日常着の手入れと保管	3	素材の特性を踏まえた洗剤の選び方やアイロンの掛け方など、布製品の手入れのしかたを理解する。	繊維に合わせて適した手入れの仕方を考えることができる。	布の性質や扱い方の工夫に関心をもって学習しようとしている。		
7			3					
おもな評価材料				・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・授業観察		
9	B 衣生活	2. 日常着の手入れと保管 ・布を用いた製作	3	衣服の修繕に必要な基礎技能やミシンなどの裁縫道具の適切な使い方が身についている。	布を用いた製作において、目的に応じて独自の工夫をすることができる。	布を用いた製作実習において、安全に配慮し、意欲的に取り組むもうとしている。		
10			4	安全に配慮した、正しい裁縫道具の使い方を理解している。			作業を効率よく進められるように自分なりに工夫している。	
11	C 消費生活	1. 家庭生活と消費	4	消費者としての自覚をもち、消費行動の概念を理解する。 消費者トラブルの事例や、トラブルを解決する方法を学習する。	様々な契約の仕方や法律を踏まえ、トラブルに備えた行動選択をすることかできる。 契約の重みや身近なトラブルを理解している。	消費者としての正しい消費行動を判断することができる。 契約に関わるトラブルに備えた売買の工夫をすることができる。		
12		2. 購入・支払いと生活情報	3	消費生活と環境問題を関連づけて考え、持続可能な社会を目指した消費行動について考える。			消費者を守る法律に関する知識を身につけている。 環境に配慮した消費生活について理解している。	将来を見通し、持続可能な消費生活の工夫をすることができる。
おもな評価材料				・プリント ・テスト ・作品			・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・授業観察
1	B 住生活	1. 住まいの働きとこちよさ	3	生活を配慮した住まいの工夫や特徴を理解している。	家庭内事故の原因について考え、対策の工夫をすることができる。	住まいに関わる危険やその対策に関心を持ち、住生活の改善に取り組もうとしている。		
2			3	図面の記号の意味が理解し、想像した住居を図面に書き起こすことができる。			暮らしやすさを考えて住まいをデザインし、記号を使って表現できる。 生活動線や好みを考慮した工夫をすることができる。	住まいの造りと生活との関わりについて関心を持ち、よりよい住まいを考える為の努力ができる。
3			3					
おもな評価材料				・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・作品	・プリント ・テスト ・授業観察		

月	単元	学 習 内 容	時数	観 点 ご と の 評 価 規 準 (達成してほしい姿)		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	A 自分の 成長と 家族・ 家庭	2. 幼児の生活と家族 ・ 幼児の生活と遊び  3. 幼児との関わり ・ 幼児との関わり方	7	乳幼児の生活の特徴を理解している。 乳幼児の発達段階と遊びの関係性について、理解している。 乳幼児の立場を考え、適切な声かけや対応をすることができる。	乳幼児の生活の特徴を踏まえ、成長におけるより良い環境の配慮について工夫することができる。 幼児の遊びと発達の関係性を踏まえ、発達段階に応じた遊びを促す工夫を考えることができる。	乳幼児の生活に関心を持ち、自らの成長を振り返りながら積極的に学習に取り組もうとしている。 幼児の遊びに関心を持ち、遊びの意味について考えようとしている。 幼児の特徴を踏まえ、安全に配慮したおもちゃ作りに意欲的に取り組むことができる。
おもな評価材料				・プリント    ・テスト    ・作品	・プリント    ・テスト    ・作品	・プリント    ・テスト    ・授業観察
9 10 11 12	A 材料と 加工の 技術	4. 家族生活と地域の関わり ・ 乳幼児のおもちゃ製作 ・ 子供にとっての家族	7	乳幼児の特徴を理解し、安全に配慮したおもちゃの製作ができる。  手縫いを使い、丁寧に製作を行うことができる。	乳幼児の生活の特徴を踏まえ、成長におけるより良い環境の配慮について工夫することができる。 幼児の遊びと発達の関係性を踏まえ、発達段階に応じた遊びを促す工夫を考えることができる。	乳幼児の生活に関心を持ち、自らの成長を振り返りながら積極的に学習に取り組もうとしている。 幼児の遊びに関心を持ち、遊びの意味について考えようとしている。 幼児の特徴を踏まえ、安全に配慮したおもちゃ作りに意欲的に取り組むことができる。
おもな評価材料				・プリント    ・作品    ・授業観察    ・テスト	・プリント    ・授業観察    ・テスト    ・作品	・プリント    ・授業観察    ・テスト    ・作品
1 2 3	A 自分の 成長と 家族・ 家庭	5. 持続可能な家庭生活 ・ 中学生としての自立 ・ 地域との関わり ・ 体が不自由な人への服の着脱介助の実習	4	高齢者の体の特徴を踏まえ、身体機能が低下した高齢者に対して、高齢者の特徴を踏まえた配慮を行いながらの介助の仕方のポイントが身についている。 視力や聴力の低下など、中学生とは異なる高齢者の体の特徴を理解している。 高齢者の体の特徴を踏まえた介助の手順や配慮すべきポイントが説明できる。	高齢者の体の特徴を踏まえ、高齢者との関わり方について工夫することができる。 認知症の症状に対する知識を踏まえ、その特徴を考慮した対応や声かけの工夫を考えることができる。	子供から大人になるにあたって、守られる立場から守る立場への意識転換が必要であることを自覚し、自らを振り返って考えようとしている。 高齢化社会について関心を持ち、高齢者との関わり方について、意欲的に学習に取り組もうとしている。
おもな評価材料				・プリント    ・テスト    ・作品	・プリント    ・テスト    ・作品	・プリント    ・テスト    ・授業観察